



導入検討・促進のための

AIあんしん研修プログラム

4週間で、AIチャットボットの企画と試験運用を
ビジネス研修形式で体系的に学び、体験できます。

- ✓ 技術知識不要、Dimesが全面サポート
- ✓ 社内ドキュメントを教材として活用
- ✓ 試作体験を通じて実務適用を検証
- ✓ 学びを継続できるeラーニングも提供

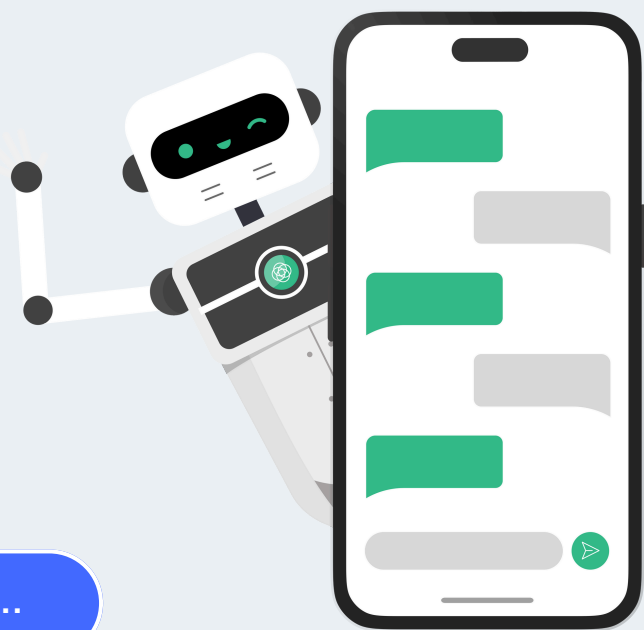
ご相談受付中

直面されていませんか？
AI導入のリアル...

どこから手をつければよいかわからない

ビジネス要件を満たすか判断がつかない

「AI＝脅威」という空気が職場に蔓延している...



【推奨チーム構成】

- プロジェクトマネージャー
- ビジネス部門責任者
- 実際に使う現場ユーザー

最大10名様まで参加いただけます。

プログラムガイドV6



AI熱は 高まるばかり。

でも、現場は戸惑っています。

経営層からは「AIで業務改革を」
と期待が寄せられる一方で、

現場の声は...

- 「何から手をつければいいのかわからない」
- 「うちの業務にも本当に使えるの？」
- 「むしろ自分の仕事がAIに取って代わられるのでは…？」

“わからない”と“こわい”が先に立ち、動きたくても動けない。
そんな空気が、いま多くの企業の中で広がりつつあります。

この「あんしんAI研修プログラム」は、
AI導入の“最初の一步”にこそ、安心感と伴走を、
そんな想いから生まれたAI試作・研修サービスです。

ツールの選定や高度な開発ではなく、
「実際のビジネス業務で、AIがどう答えるか？」を
安全に体験することにフォーカス。

現場の問いに、現場の言葉でAIがどう応えるかを体感することで、
“わかる”が増え、“やってみたい”が生まれる。

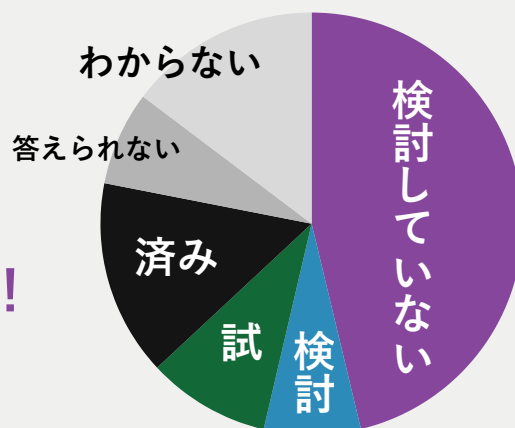
あんしん感が、変化を後押しします。

AI導入、利用率のリアル...!?

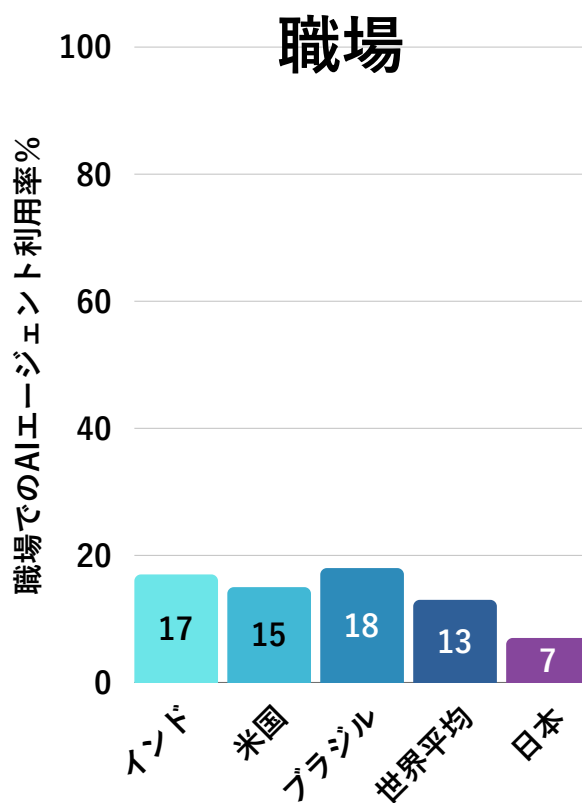
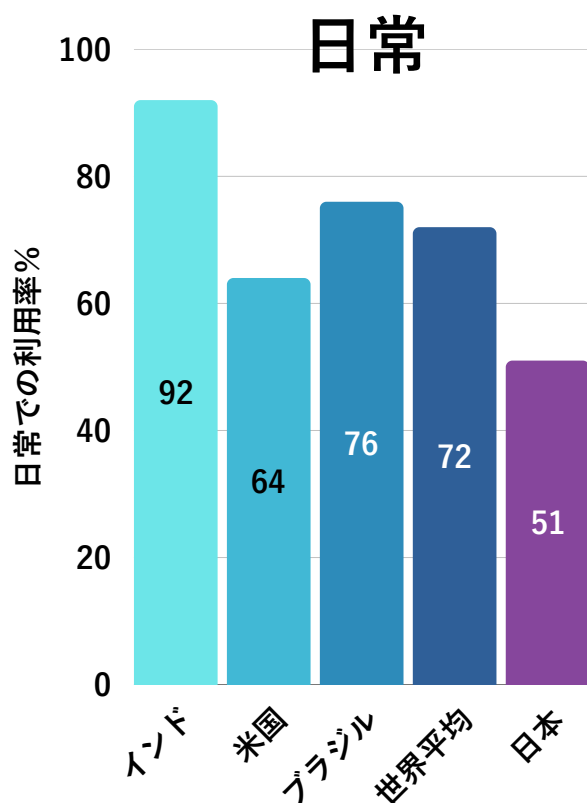
日本の法人向け生成AIサービス利用動向調査

15.0% 生成AI導入済
9.4% トライアル利用中
7.4% 導入検討中
! 46.2% 導入検討していない !

出典：ICT総研 2025年7月 n=4,068



国際比較で見るAIエージェント利用率、日本は最下位



出典：ボストンコンサルティンググループ (BCG)

職場におけるAI活用に関する意識調査に基づくレポート

BCG AI AT WORK Momentum Builds, But Gaps Remain 2025年6月、n=10,635

プログラムの 特徴



ビジネス要件に焦点をあてた研修設計

技術仕様に囚われず、スピード感・使用感・目的を重視。AI活用をビジネス視点で考える力を育みます。

試作体験を含む実践的な学習

社内ドキュメントを活用し、実際にチャットボットを作り、試し、改善する一連のプロセスを体験します。

学習内容を補強するeラーニング

研修中に気づいたスキル不足は、すぐにソフトスキルeラーニングで補えます。(例：変革推進、デザイン思考 など)

経験者による伴走

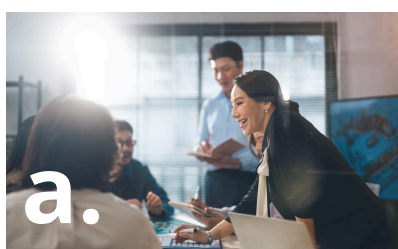
DX経験の豊富なDimes講師陣が研修をリード。必要に応じてリードエンジニアとの技術ディスカッション機会も用意。

期待される 効果

1. 「AIを育成できる」担当者と、それを支援するチームを実務に沿った研修を通して育成します。
2. 試験運用体験を通じて「AIは難しい」という思い込みを取り除き、大規模導入に向けた確信を得られます。
3. AI導入は「ITの仕事」ではなく、ビジネスがリード・協働する取り組みであるという理解を促進します。
4. 「わからない・こわい」という感覚を「これならできる・面白い」へと変えることができます。



こういった疑問を抱えている 方々に**お勧めします**



初めてAIプロジェクトに関わる方

- 専門知識がない自分でも、本当にAIを扱えるのだろうか？
- AIに任せられることと、人がやるべきことの境目はどこにあるのだろうか？
- 研修を通じて、どのくらい実務に役立つスキルを身につけられるのだろうか？



AI導入を推進する部門リーダー

- IT部門任せにせず、自分の部門の裁量でAI知識を高めてスキルを身につけるにはどうすればいいのだろうか？
- 限られた予算や時間の中で、どのくらいの規模から始めるのが現実的なのだろうか？
- 成果を経営層にどう示せば、次の投資や拡大につながるのだろうか？



現場のユーザー・オペレーター

- 日常業務でAIを使うとき、どんな質問の仕方をすればうまく答えてくれるのだろうか？
- AIの応答が正しいかどうかを、どうやって見極めればいいのか？
- 自分のフィードバックは、AIの改善にどのように役立つのだろうか？

導入検討・促進のための

AIあんしん研修プログラム

4週間で、AIチャットボットの企画と試験運用を
ビジネス研修形式で体系的に学び、体験できます。



- 第1週目 - ふれて、ひもとく
- 第2週目 - 試して、広げる
- 第3週目 - 見て、直す
- 第4週目 - ふりかえり、つなげる
- AI導入推進に求められるスキル
- 対人スキルを強化するeラーニング
- ご相談受付中
- 会社概要



第1週目 触れて、ひもとく

チャットボットを実際に触ってみる。
知見の整理とAIの学習・評価スタイル。

実践課題

- アカウント作成とデモ用チャットボットへのアクセス
- 知見データの収集、整理の仕方を考える
- AIの学習・応答スタイルの違いを確認する
- AIの評価基準、従業員・組織の評価基準

ディスカッショントピック（例）

- RAG型AIチャットボットと生成AIチャットとの違い
- 知見データはどうやって集めたり作ったりするのか？
- 利用目的の明確化とそれに応じたデータや様式の選び方
- ちょうど良いデータ量はどう見極めるのか？
- 評価基準の設定はどうか？（例：DeNAさんのDARS）

成果物・デリベラブル

- ユーザーペルソナ
- プロジェクトで試用するAI導入「評価フレームワーク」

第2週目 試して、広げる

TRY NOW



試作ボット1号をリリースして
チームでの運用を開始。

実践課題

- 試作1号チャットボットを使う
- チャットボットの応答内容を評価をする
- インサイト機能を使って集まった評価データを可視化する
- Key Performance Indicator (KPI)を設立する

ディスカッショントピック（例）

- RAG型でもハルシネーションは起こるのか？
- 質問の仕方によって応答内容がどう変化するのか？
- 試作ボット1号の良いところと悪いところ
- 実運用における評価・フィードバック収集で想定される課題
- リード指標とラグ指標に関する考察
- その他チームが気付いたこと

成果物・デリベラブル

- 試作1号機
- KPI、リード指標、ラグ指標とそのトラッキング方法



第3週目 見て、直す

フィードバックをもとに改善策を
講じてボット第2号をリリース。

実践課題

- 集めたフィードバック（評価やコメント）をチームでレビューして、改善点を見つける
- 改善策を用意し、チャットボットに再学習をしてもらうことでバージョンアップした第2号をリリースする

ディスカッショントピック（例）

- フィードバックはどれだけ必要なのか？
- 再学習のさせ方にはこういった手順があるのか？
- 再学習はこういった頻度で行うのが現実的か？
- より大勢のユーザーが利用する本稼働環境では、この「見て、直す」という作業はどうスケールするのか？

成果物・デリベラブル

- 1号機からのインサイト、改善点をまとめた文書・プレゼン資料
- AIの成長を促すのに必要な人財や組織的な枠組みリスト



第4週目 ふりかえり、つなげる

1号機とバージョンアップした2号機
とを比較し、成長を評価・確認。

実践課題

- 試作チャットボットの利用率や、利用価値、成長具合を数値化してプレゼンテーション資料にまとめる（テンプレ活用）
- チームとして、ネクストステップを定義する

ディスカッショントピック（例）

- 利用率や稼働率、投資対効果の見せ方
- 何をもってチャットボットは「成長した」と言えるのか？
- 試作ボットのまま継続運用する価値はあるのか？
- 部門展開・本稼働をするためには何が必要なのか？
 - 推進チームのスキル強化？
 - 利用者を対象とした研修？
 - IT要件の明確化とインフラ構築？

成果物・デリベラブル

- 試作2号機
- プロジェクトレビュー・チームプレゼンテーション

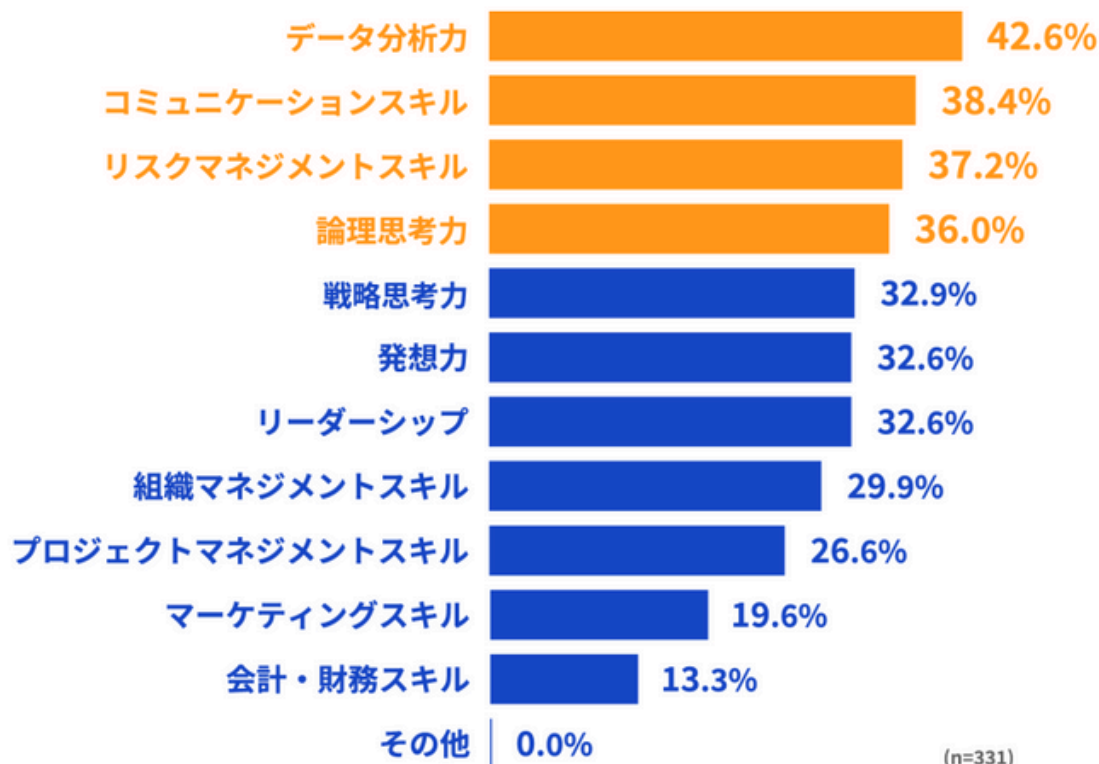
AI導入を推進するリーダーやチームに求められるスキル

GLOBIS学び放題による調査（2025年4月）

コミュニケーションやリーダーシップなどの対人スキル（ソフトスキル）は、学習を通じて誰でも伸ばすことができます。

あんしんAI試作サービスに参加されるチームの皆さまには、試作AIチャットボットにアクセスするのと同じサイト（timelyhero.com）から、これらのスキルを高めるeラーニングにもアクセスしていただけます。

ビジネスにおける AI 活用が進む中、
リーダーが持つべき重要なスキルは何だと考えますか。（複数回答可）



対人スキルを強化する eラーニング

変化の激しいビジネス環境において、次世代リーダーに求められるのは、柔軟な思考力、共感力、そして自己変革力といった「対人スキル」です。PINKTUMは、これらのスキルを体系的かつ実践的に習得できる、欧州最大のソフトスキル特化型eラーニングプラットフォームです。

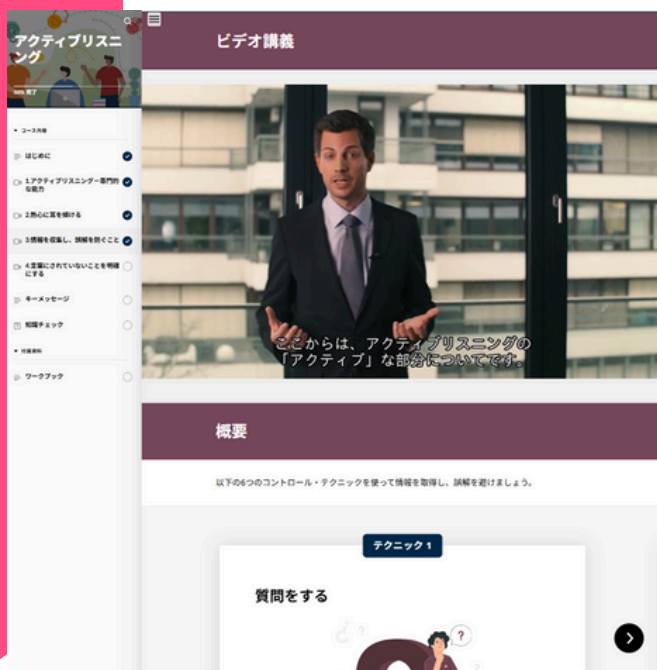


豊富なコンテンツ：

日本語を含む多言語対応コースを提供し、リーダーシップ、チームマネジメント、コミュニケーションなど、幅広いテーマをカバーしています。

高品質な学習体験：ドラマ仕立ての動画やインタラクティブなコンテンツにより、学習者の興味を引きつけ、実践的なスキル習得を支援します。日本語版では英語音声と字幕による映画のようなビデオ講義が展開されます。

柔軟なアクセス：PC、タブレット、スマートフォンなど、あらゆるデバイスで学習可能。いつでも、どこでも、自分のペースで学べます。



timelyhero.comの全てのコースは14日間無料でお試しいただけます。

ご相談受付中

[こちらのオンラインフォームを
ご利用ください](#)



導入検討・促進のための

AIあんしん研修プログラム

4週間で、AIチャットボットの企画と試験運用を
ビジネス研修形式で体系的に学び、体験できます。

よくあるご質問

この研修プログラムでは何を学べますか？

実務に直結したAI活用のプロセスを、研修形式で体験的に学べます。

AIチャットボットを教材にしながら、企画・試作・評価・改善の流れを実際に進めることで、導入判断や運用イメージを具体的に確かむことができます。

どんな社内情報を準備すれば研修が進められますか？

業務マニュアル、FAQ、ガイドラインなど、既存の社内ドキュメントを研修教材として利用します。目的に応じて情報量を調整しますので、事前にご相談いただければ最適化可能です。

セキュリティや情報漏洩のリスクはありませんか？

法人企業向けの基準に準拠し、取り扱う情報は限定的かつ最小限です。個人情報や機密情報は対象とせず、安全に研修を実施できます。

費用はどのくらいかかりますか？

研修期間とサポート内容を含む明確な定額制パッケージです。初期コストを把握しやすい仕組みになっております。詳細なお見積もりはお気軽にお問い合わせください。

Dimes - timelyhero

会社概要

Vision・ビジョン

背景や状況に関係なく、誰もが質の高い教育と個人的および専門的な成長の機会に平等にアクセスできる世界を作ります。

Mission・ミッション

個人が自分の専門知識やスキルを提供し、ライブセミナーやオンライン講座等でスキルを共有する機会と世界中の他のユーザーから学び個人が自己に必要なスキルを身につけ成長できる道を提供します。また世界の優れた教育コンテンツを集めることにより、経済的エンパワーメントや社会的流動性への障壁を打ち破ります。

Values・価値観

包括性

多様性を受け入れ、背景、場所、社会経済的地位に関係なく、すべての人が学習と就労の機会に平等にアクセスできるようにします。

イノベーション

AIによる翻訳やユーザー生成コンテンツなどのテクノロジーを活用して、学習体制を強化し、世界中で知見にアクセスできるようにするよう継続的に努力しています。

エンパワーメント

知識や専門知識を共有することで、個人が自分の潜在能力を最大限に発揮し、社会に有意義に貢献し、人々が誰かにとってのヒーローになれる環境を育みます。

レジリエンス

困難や挫折を乗り越え、逆境に直面しても、社会にポジティブな影響を与えるという目標に取り組み続けます。

コラボレーション

ユーザー、教育者、関係者間のコラボレーションと協力を奨励し、関係者全員に利益をもたらすコミュニティ主導のプラットフォームを共同で構築します。

社会的責任

前向きな変化を推進する上での企業の役割を認識し、より公平で包括的な社会の構築に向けて積極的に取り組みます。